

東伊豆町で 暮らす

移住・定住
ガイドブック



海、山、温泉。東伊豆町は 自然の恵みでいっぱいです。



東伊豆町ってこんなところ

●東伊豆町の概要

東伊豆町は、伊豆半島東海岸の中央に位置し、観光業を基幹産業とする、山と海に囲まれた自然豊かな町です。

豊富な温泉からなる6つの温泉郷で形成され、気候も温暖で過ごしやすく、年間約82万人の観光宿泊客に加え、首都圏からも比較的近いことから日帰り旅行も急増しています。



●東京と比較すると冬暖かく、夏涼しい

平成27年の月別平均気温

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東伊豆町	7.8	7.6	10.8	14.7	19.6	20.7	25.4	26.1	22.5	17.8	15.2	8.5
東京	5.8	5.7	10.3	14.5	21.1	22.1	26.2	26.7	22.6	18.4	13.9	9.3



ニューサマー
オレンジ



金目鯛の王様
「稲取キンメ」

東伊豆町 マップ



●レジャー

町内の4つの漁港においてアジやムツなどの釣りが一年中楽しめます。細野高原ではパラグライダースクールがあり、県内外からのお客さんが空を満喫しています。稲取ゴルフクラブは、4つのコースからなり気分爽快にゴルフを楽しめます。

●年間の各種イベント

- 1月……………各地区どんど焼き
- 1月中旬～3月… 雛のつるし飾りまつり
- 4月……………お花見イベント
- 6月……………大川ホテルの鑑賞
- 7月……………熱川海上花火大会
- 10月……………細野高原スキイイベント



雛のつるし飾り

稲取細野高原

ひがしいずまち 住まい



●住まい探しのアドバイス

一人暮らし用賃貸物件は少なく、空き家でも不動産情報として流れていないものもあり、地元の人も知人に紹介してもらい引っ越す方も多です。まずは役場に相談してみてもいいでしょうか？

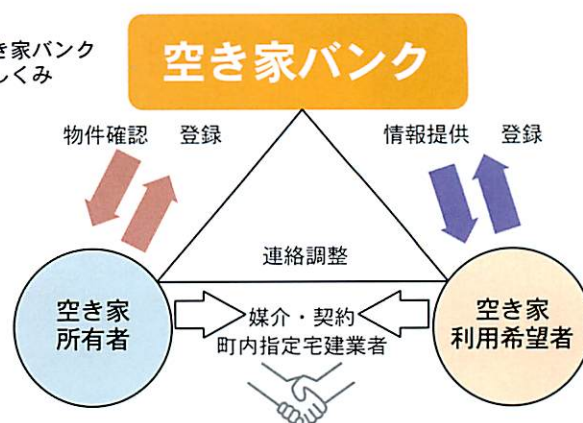
まちから離れた見晴らしのいいところは、公共交通が確保できない場合があります。特に熟年の方の移住は、買い物、医療など先のことも考えて住む場所を選びましょう。

「地域の中で親切にしてください安心」という方、「別荘地なのでめんどくなつきあいがなくて楽」という方、いろいろです。住む場所によって、つきあい方が違うようです。

●空き家バンク制度

空き家バンクとは、空き家の売買・賃貸を希望する所有者から申し込みを受けた物件情報を町のホームページなどで公開し、移住等を希望する方に情報提供を行うシステムです。なお、契約交渉は町と提携を結んでいる町内宅建業者と行います。

空き家バンク
のしくみ



改修費補助

- ・工事金額 100 万円以上の場合
20 万円（限度額）
- ・工事金額 10 万円以上 100 万円未満の場合
工事金額の 20%補助

住宅取得費補助

- ・取得対価の 3 % 以内 30 万円（限度額）

家賃補助

- ・家賃の 1/2 補助 3 万円を限度に 3 ヶ月分

●空き家活用支援制度

東伊豆町空き家バンクに登録されている物件を取得又は賃借する利用者に対して、改修費用の一部及び取得費、家賃の一部を補助し、負担の軽減をはかる制度です。

【補助対象者】

- ・新規に転入した方で、登録物件の住所に住民登録をした方
- ・5 年以上その物件に居住する方
- ・1 年以内に町から転出していない方
- ・納付すべき町税等の滞納がない方
- ・以前に同補助金又は町の他の補助金等を受けていない方
- ・物件を取得した方にとっては、取得者及びその属する世帯全員が町内に居住を供する建物を保有していない方

■お問い合わせ

企画調整課 企画係 TEL.0557-95-6202（直通）



東伊豆町の主な不動産業者	住所	TEL
緑地㈱	片瀬 561-13	0557-23-4445
㈱成田屋	片瀬 565-15	0557-23-4322
(有)川口	稲取 506	0557-95-3647
金生地所㈱	稲取 417-1	0557-95-2656
伊豆太陽ホーム㈱熱川店	奈良本 1246-73	0557-22-2288
(有)二木不動産	奈良本 1426-33	0557-23-0418
㈱竹内組	稲取 665	0557-95-2624

ひがしいずまち くらし



●医療、買い物などのくらし情報

【医療】

町内には、総合病院や医療機関があります。対応困難な救急や専門性の高い疾患に対しては、ドクターヘリなどで町外搬送を行っております。

【買い物】

生鮮食品のスーパーが数店舗・各種小売店も町内にあります。大型量販店は車で約30分圏内の近隣市町にあります。

主なスーパー

マックスバリュ稲取店	野菜・肉・酒類
フードショップはなまる	野菜・肉・酒類
里の市場	野菜・肉・酒類
臼井ストア	野菜・肉・酒類

町内の病院

町内の病院	TEL
伊豆東部総合病院	0557-95-1151
熱川温泉病院	0557-23-0843
豊寿園温泉病院	0557-23-2295
熱川クリニック	0557-23-0543
なかむら医院	0557-23-1088
太田整形外科	0557-22-0017

周辺の主な病院

周辺の主な病院	TEL
伊東市民病院	総合病院 0557-37-2626
順天堂大学 医学部附属静岡病院	総合病院 055-948-3111
伊豆今井浜病院	総合病院 0558-34-1123
下田メディカルセンター	総合病院 0558-25-2525
かわづクリニック	小児科 0558-32-2766

ひがしいずまち 仕事

町内には、企業が少ないため、求人はあまり多くありませんが、観光関係や福祉・介護関係の求人は比較的あります。また、起業を考えている方への支援も行っています。



●新規就業支援制度の紹介

・新規で農業を始める方

静岡県では、「がんばる新農業人支援事業」を行っています。内容については、新人材育成タイプ・地域受入れ型があります。事前研修2ヶ月程度、実践研修1年間

■賀茂農林事務所 企画経営課 TEL0558-24-2076

・起業する方

東伊豆町商工会では、起業する方へ店舗の改修費用の1/2補助を行っています。また、開業計画作成、創業資金の斡旋等、経営に関するすべての相談を受けています。

■東伊豆町商工会 TEL.0557-95-2167

●求人情報

・ハローワーク下田

ハローワーク下田では、職業相談・職業紹介を行っています。求職希望の方は、お気軽にご相談ください。

■静岡県下田市 4-5-26
TEL.0558-22-0288

以下のHPからも求人情報がご覧いただけます。

■東伊豆町商工会 <http://jibasan.info>

ひがしいずまち 子育て

町内には、保育園が2ヶ所あります。安心して子どもを預け、仕事ができる環境が整っています。海・山の自然に恵まれた環境で屋外教育にも取り組んでいます。

●子宝祝金

東伊豆町では出生児の健やかな成長を願い「子宝祝金」を支給しています。

第1子	50,000円
第2子	100,000円
第3子	200,000円
第4子以降	300,000円

●子育て用具購入費補助金

子どもを安心して生み育てる環境を整備するためチャイルドシート又はベビーカーの購入に要する経費に対し補助金（購入金額の1/2）を支給しています。但し、チャイルドシートは10,000円、ベビーカーは20,000円が限度となります。

●医療費助成制度

(H28.4.1 現在)

名称	対象者	助成内容	備考
子ども医療費助成	中学3年生までの児童	医療費（保険適用分）の自己負担 中学3年生まで無料	学校の災害共済給付を受けられる場合は対象外 所得制限なし
母子家庭等医療費助成	20歳に達する日の前日までの間にある子どもを扶養している方とその子ども	医療費（保険適用分）の自己負担 （入院時食事標準負担額は対象外）	学校の災害共済給付を受けられる場合は対象外 所得制限あり

■詳しくは 役場住民福祉課 子育て支援係 TEL.0557-95-6204 ※子育て支援制度は金額が変更されることがあります。



●学校や預かり保育など

稲取保育園（認可）……平 日 7:30～18:30
土曜日 7:30～17:30

三宝保育園（認可外）…平 日 8:00～17:30（延長7:30～8:00・17:30～18:30）
土曜日 8:00～17:30（延長7:30～8:00・17:30～18:00）

稲取幼稚園（預かり保育有）

稲取小学校（学童保育有）

稲取中学校

稲取高等学校

熱川幼稚園（預かり保育有）

熱川小学校（学童保育有）

熱川中学校

大川幼稚園

大川小学校

保育ママ事業

対象児は0～3歳未満で

1日8時間以内、

保育費は月～土曜日

移住者の声

東伊豆町に移住された方々のきっかけや、移住してからの様子、メッセージなどをご紹介します。



移住者インタビュー

01

大川在住

野見山さん

移住する前は、都会で暮らすサラリーマンでした。30代の半ばに激務から体調を崩し入院。毎日「なんのために働くのか？」と考えている時に「半農半X」の本に出逢い、自然の中で本当にやりたいことをして暮らそうと決意した所から人生が変わり始めました。その後、鍼灸の国家資格を取得し、伊豆高原の保養施設でホリスティックな治療を学ぶため移住を決めました。

東伊豆を選んだのは、首都圏に近く、気候も温暖で自然も豊かなうえに、畑や大好きな波乗りの出来る環境だったからです。

現在は独立し、1ヶ月の半分は伊豆で自然農の畑や波乗りを、残りの半分はセミナーの講演で全国を回っています。自然との共生・経済的豊かさ、そのどちらをも大切にし田舎と都会を行き来する暮らし～Dual Lifeを送ることが僕にとって心地いいですし、伊豆はちょうどいい場所だと思っています。

結婚と同じで、最初はちょこちょこ訪れて様子を見ながらフィーリングが合えば決めればいいと思います（笑）



移住者インタビュー

02

稲取在住

樋口さん

移住したきっかけは、「太陽の下で働きたい。」東京で満員電車で揺られながら、そんな思いを抱くようになりました。縁あってか伊豆のペンションに1か月ほど居候をしつつ、スクーバを始めたことがきっかけです。海での感動体験と太陽の下で働こうという気持ちの高まりが重なり、海で暮らすことを決めました。

東伊豆の海中には四季を感じて潜ることのできる、世界的にも希少な海中環境が多々あり、首都圏からのアクセスも簡単なため気軽に移住することを決めた気がします。

毎日海のそばで暮らせることが僕にとって最大のメリットでしたが、東伊豆での生活が20年過ぎ、最近感じることは、温暖な気候・良い空気・豊富な自然です。海は勿論ですが東伊豆には飽きの来ない自然環境が豊富です。

これから移住を考えている方へアドバイスのことをするならば、目的を明確にすることで、困難は乗り越えられると思いますが、頑張りすぎないことも大切です。ある程度の積極性は必要ですが旅行者ではなく住人となる為に大切なのは続けることだと感じています。

